

2 景観地域基準編

凡例

記号	景観区名
すべて	下記のすべての景観区を対象
緑	緑地景観区 / 市街化調整区域、都市計画区域外
低	低層住宅地景観区 / 第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域
中	中高層住宅地景観区 / 第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域
一	一般市街地景観区 / 第1種住居地域
沿	沿道市街地景観区 / 第2種住居地域、準住居地域、準工業（幹線道路沿道のみ）
近	近隣商業地景観区 / 近隣商業地域
商1	商業地景観区 / 商業地域（600%以上）
商2	商業地景観区 / 商業地域（600%未満）
準	準工業地景観区 / 準工業地域（幹線道路沿道部を除く）
工	工業地景観区 / 工業地域、工業専用地域
都河	都市河川沿岸景観区 / 都市河川岸の境界から15mまでの区域
自河	自然河川沿岸景観区 / 自然河川岸の境界から15mまでの区域

都市河川沿岸景観区・自然河川沿岸景観区の基準は、個々の景観区の基準に加えて配慮するものです。

2 景観地域基準編

1 . 建築物の新築、改築 または増築

1 - 1 敷地内における位置 1

- (1) 敷地内における位置
- (2) 敷地境界線からの後退

1 - 2 形態・意匠 6

- (1) 形態
- (2) 屋根の形態
- (3) 屋上設備
- (4) 屋上工作物
- (5) 意匠

1 - 3 色彩 17

- (1) 使用できる色彩
- (2) 配色
- (3) 屋上工作物の色彩

1 - 4 素材 27

- (1) 素材
- (2) 使用を避ける素材

1 - 5 敷地内の緑化 32

- (1) 配植
- (2) 樹高
- (3) 緑化の割合
- (4) 自然植生への配慮

1 - 6 樹木などの保全 45

- (1) 樹木などの保全

2 . 工作物の新築、改築 または増築

2 - 1 煙突、ごみ焼却施設、アンテナ、鉄筋コンクリート造りの柱、鉄柱その他これらに類するもの、記念塔、電波塔、物見塔その他これらに類するもの及び高架水槽 45

- (1) 敷地内における位置
- (2) 形態・意匠

(3) 色彩	2 - 7 その他	61
(4) 敷地内の緑化	(1) 敷地内の緑化	
(5) 樹木などの保全		
2 - 2 彫像その他	3 . 開発行為	
これに類するもの 50	3 - 1 のり面などの修景	62
(1) 形態・意匠・色彩	(1) 樹木などの保全	
(2) 敷地内の緑化	(2) のり面の緑化	
	(3) 擁壁などの素材	
2 - 3 汚水または	3 - 2 その他	67
廃水処理する施設 52	(1) その他	
(1) 敷地内における位置		
(2) 形態・意匠		
(3) 色彩		
(4) 敷地内の緑化		
(5) 樹木などの保全		
2 - 4 メリーゴーラウンド、観覧		
車、飛行塔、コースター、ウォー		
ターシュートなどの遊戯施設 55		
(1) 敷地内における位置		
(2) 敷地内の緑化		
(3) 樹木などの保全		
2 - 5 アスファルトプラント、コ		
ンクリートプラント、クラッシャ		
ープラントその他これらに類す		
る製造施設及び石油、ガス、LPG、		
穀物、飼料などを貯蔵する施設そ		
の他これらに類するもの 57		
(1) 敷地内における位置		
(2) 意匠		
(3) 色彩		
(4) 敷地内の緑化措置		
(5) 樹木などの保全		
2 - 6 電気供給のための電線路、		
有線電気通信のための線路又は		
空中線系（その支持物を含む。） 59		
(1) 位置		
(2) 形態・色彩		

各景観区ごとの景観形成基準の概要（建築物などについて）

緑地景観（市街化調整区域、都市計画区域外） - 緑

赤字は各景観区の特徴

<p><敷地内における位置></p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内の建築物等の規模と配置のバランスに配慮します。 敷地境界線から極力後退します。 	<p><色彩></p> <ul style="list-style-type: none"> けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観との調和を図ります。 	<p><屋上設備></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上設備は、目立たない位置に設けたり、目隠しするなど、建築物本体及び周辺景観との調和に配慮します。
<p><形態></p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的にまとまりのある形態とします。 周辺の建築物の屋根が勾配屋根の地区や、周辺に山稜や樹林地がある地区では、原則として、勾配屋根とします。 	<p><素材></p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺景観に調和し、長期間良好な景観が維持できる石や木材などの自然素材を使用します。 のどかな自然地又は集落地では、壁面などの大部分にガラスや金属などの冷たさを感じさせる素材、反射光のある素材を使用することは避けます。 	<p><屋上工作物></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上工作物は、建築物本体と調和を図るとともに、スカイラインを乱さないよう、すっきりとした形態とします。
<p><意匠></p> <ul style="list-style-type: none"> 威圧感や圧迫感を与えないよう、配慮します。 		



<p><敷地内の緑化></p> <ul style="list-style-type: none"> 緑豊かな景観とするため、敷地の20%以上を緑化します。 樹種の構成及び樹木の配置は、良好な景観の形成、周辺環境との調和に配慮して検討します。 樹種は、自然植生を考慮した、周辺環境との調和が得られるものとしします。 	<p><樹木等の保全></p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内の樹林は、なるべく保存します。やむを得ず伐採する場合も、必要最小限にとどめます。 樹姿又は樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、樹木を修景に生かすよう配慮します。難しい場合は、できるかぎり周辺に移植します。
--	--

低層住宅地景観（第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域） 低

<p><敷地内における位置></p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内の建築物等の規模と配置のバランスに配慮します。 敷地境界線から極力後退します。 歴史的な景観を有する地域では、連続性のあるまちなみを乱さないよう配慮します。 	<p><意匠></p> <ul style="list-style-type: none"> 威圧感や圧迫感を与えないよう、配慮します。 歴史的な景観を有する地域では、軒・庇を設けるなど、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した和風基調のデザインとします。 	<p><素材></p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺景観に調和し、長期間良好な景観が維持できる石や木材などの自然素材を使用します。 歴史的な景観を有する地域にあっては、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した素材を使用します。
<p><形態></p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的にまとまりのある形態とします。 屋根の形状は、周辺の山稜、樹林地と調和するよう工夫します。 	<p><色彩></p> <ul style="list-style-type: none"> けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観との調和を図ります。 	<p><屋上設備></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上設備は、目立たない位置に設けたり、目隠しするなど、建築物本体及び周辺景観との調和に配慮します。
		<p><屋上工作物></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上工作物は、建築物本体と調和を図るとともに、スカイラインを乱さないよう、すっきりとした形態とします。



<p><敷地内の緑化></p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺環境と調和した緑豊かな景観とするため、敷地の緑化に努めます。 樹種の構成及び樹木の配置は、良好な景観の形成、周辺環境との調和に配慮して検討します。 	<p><樹木等の保全></p> <ul style="list-style-type: none"> 樹姿または樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、樹木を修景に生かすよう配慮します。難しい場合は、できるかぎり周辺に移植します。
--	--

中高層住宅地景観(第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域)

中

<敷地内における位置>

- ・敷地内の建築物などの規模と配置のバランスに配慮します。
- ・敷地境界線から極力後退します。
- ・歴史的な景観を有する地域では、連続性のあるまちなみを乱さないよう配慮します。

<意匠>

- ・威圧感や圧迫感を与えないよう、配慮します。
- ・歴史的な景観を有する地域では、軒・庇を設けるなど、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した和風基調のデザインとします。

<素材>

- ・周辺景観に調和し、長期間良好な景観が維持できる石や木材などの自然素材を使用します。
- ・歴史的な景観を有する地域にあっては、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した素材を使用します。

<形態>

- ・全体的にまとまりのある形態とします。
- ・屋根の形状は、周辺の山稜、樹林地と調和するよう工夫します。

<色彩>

- ・けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観との調和を図ります。

<屋上設備>

- ・屋上設備は、目立たない位置に設けたり、目隠しするなど、建築物本体及び周辺景観との調和に配慮します。

<屋上工作物>

- ・屋上工作物は、建築物本体と調和を図るとともに、スカイラインを乱さないよう、すっきりとした形態とします。



<敷地内の緑化>

- ・周辺環境と調和した緑豊かな景観とするため、敷地の緑化に努めます。
- ・樹種の構成及び樹木の配置は、良好な景観の形成、周辺環境との調和に配慮して検討します。

<樹木等の保全>

- ・樹姿または樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、樹木を修景に生かすよう配慮します。難しい場合は、できるかぎり周辺に移植します。

一般市街地景観(第1種住居地域)

一

<敷地内における位置>

- ・敷地内の建築物などの規模と配置のバランスに配慮します。
- ・敷地境界線から極力後退します。
- ・歴史的な景観を有する地域では、連続性のあるまちなみを乱さないよう配慮します。

<意匠>

- ・威圧感や圧迫感を与えないよう、配慮します。
- ・歴史的な景観を有する地域では、軒・庇を設けるなど、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した和風基調のデザインとします。

<素材>

- ・周辺景観に調和し、長期間良好な景観が維持できる石や木材などの自然素材を使用します。
- ・歴史的な景観を有する地域にあっては、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した素材を使用します。

<形態>

- ・全体的にまとまりのある形態とします。
- ・屋根の形状は、周辺の山稜、樹林地と調和するよう工夫します。

<色彩>

- ・けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観との調和を図ります。

<屋上設備>

- ・屋上設備は、目立たない位置に設けたり、目隠しするなど、建築物本体及び周辺景観との調和に配慮します。

<屋上工作物>

- ・屋上工作物は、建築物本体と調和を図るとともに、スカイラインを乱さないよう、すっきりとした形態とします。



<敷地内の緑化>

- ・周辺環境と調和した緑豊かな景観とするため、敷地の緑化に努めます。
- ・樹種の構成及び樹木の配置は、良好な景観の形成、周辺環境との調和に配慮して検討します。

<樹木等の保全>

- ・樹姿または樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、樹木を修景に生かすよう配慮します。難しい場合は、できるかぎり周辺に移植します。

沿道市街地景観(第2種住居地域、準住居地域、準工業(幹線道路沿道のみ))

沿

<p><敷地内における位置></p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内の建築物などの規模と配置のバランスに配慮します。 敷地境界線から極力後退します。 歴史的な景観を有する地域では、連続性のあるまちなみを乱さないよう配慮します。 	<p><意匠></p> <ul style="list-style-type: none"> 威圧感や圧迫感を与えないよう、配慮します。 歴史的な景観を有する地域では、軒・庇を設けるなど、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した和風基調のデザインとします。 	<p><素材></p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺景観に調和し、長期間良好な景観が維持できる石や木材などの自然素材を使用します。 歴史的な景観を有する地域にあっては、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した素材を使用します。
<p><形態></p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的にまとまりのある形態とします。 屋根の形状は、周辺の山稜、樹林地と調和するよう工夫します。 	<p><色彩></p> <ul style="list-style-type: none"> けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観との調和を図ります。 	<p><屋上設備></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上設備は、目立たない位置に設けたり、目隠しするなど、建築物本体及び周辺景観との調和に配慮します。
		<p><屋上工作物></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上工作物は、建築物本体と調和を図るとともに、スカイラインを乱さないよう、すっきりとした形態とします。



<p><敷地内の緑化></p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺環境と調和した緑豊かな景観とするため、敷地の緑化に努めます。 樹種の構成及び樹木の配置は、良好な景観の形成、周辺環境との調和に配慮して検討します。 	<p><樹木等の保全></p> <ul style="list-style-type: none"> 樹姿または樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、樹木を修景に生かすよう配慮します。難しい場合は、できがかり周辺に移植します。
--	---

近隣商業地景観(近隣商業地域) - 近

商業地景観(商業地域(600%未満)) - 商2

<p><敷地内における位置></p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内の建築物などの規模と配置のバランスに配慮します。 敷地境界線から極力後退します。 歴史的な景観を有する地域では、連続性のあるまちなみを乱さないよう配慮します。 	<p><意匠></p> <ul style="list-style-type: none"> 威圧感や圧迫感を与えないよう、配慮します。 歴史的な景観を有する地域では、軒・庇を設けるなど、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した和風基調のデザインとします。 	<p><素材></p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺景観に調和し、長期間良好な景観が維持できる石や木材などの自然素材を使用します。 歴史的な景観を有する地域にあっては、周辺の伝統的建築様式との調和に配慮した素材を使用します。
<p><形態></p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的にまとまりのある形態とします。 屋根の形状は、周辺の山稜、樹林地と調和するよう工夫します。 	<p><色彩></p> <ul style="list-style-type: none"> けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観との調和を図ります。 	<p><屋上設備></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上設備は、目立たない位置に設けたり、目隠しするなど、建築物本体及び周辺景観との調和に配慮します。
		<p><屋上工作物></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上工作物は、建築物本体と調和を図るとともに、スカイラインを乱さないよう、すっきりとした形態とします。



<p><敷地内の緑化></p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺環境と調和した緑豊かな景観とするため、敷地の緑化に努めます。 樹種の構成及び樹木の配置は、良好な景観の形成、周辺環境との調和に配慮して検討します。 	<p><樹木等の保全></p> <ul style="list-style-type: none"> 樹姿または樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、樹木を修景に生かすよう配慮します。難しい場合は、できがかり周辺に移植します。
--	---

商業地景観（商業地域（600%以上）） - 商1

<敷地内における位置>

- ・敷地内の建築物などの規模と配置のバランスに配慮します。
- ・敷地境界線から極力後退します。

<形態>

- ・全体的にまとまりのある形態とします。

<意匠>

- ・威圧感や圧迫感を与えないよう、配慮します。

<色彩>

- ・けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観との調和を図ります。

<素材>

- ・周辺景観に調和し、長期間良好な景観が維持できる石や木材などの自然素材を使用します。

<屋上設備>

- ・屋上設備は、目立たない位置に設けたり、目隠しするなど、建築物本体及び周辺景観との調和に配慮します。

<屋上工作物>

- ・屋上工作物は、建築物本体と調和を図るとともに、スカイラインを乱さないよう、すっきりとした形態とします。



<敷地内の緑化>

- ・周辺環境と調和した緑豊かな景観とするため、敷地の緑化に努めます。
- ・樹種の構成及び樹木の配置は、良好な景観の形成、周辺環境との調和に配慮して検討します。

<樹木等の保全>

- ・樹姿または樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、樹木を修景に生かすよう配慮します。難しい場合は、できるかぎり周辺に移植します。

準工業地景観（準工業地域（幹線道路沿道部を除く）） - 準

工業地景観（工業地域、工業専用地域） 工

<敷地内における位置>

- ・敷地内の建築物などの規模と配置のバランスに配慮します。
- ・敷地境界線から極力後退します。

<形態>

- ・全体的にまとまりのある形態とします。

<意匠>

- ・威圧感や圧迫感を与えないよう、配慮します。

<色彩>

- ・けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観との調和を図ります。

<素材>

- ・周辺景観に調和し、長期間良好な景観が維持できる石や木材などの自然素材を使用します。

<屋上設備>

- ・屋上設備は、目立たない位置に設けたり、目隠しするなど、建築物本体及び周辺景観との調和に配慮します。

<屋上工作物>

- ・屋上工作物は、建築物本体と調和を図るとともに、スカイラインを乱さないよう、すっきりとした形態とします。



<敷地内の緑化>

- ・周辺環境と調和した緑豊かな景観とするため、敷地の緑化に努めます。
- ・樹種の構成及び樹木の配置は、良好な景観の形成、周辺環境との調和に配慮して検討します。

<樹木等の保全>

- ・樹姿または樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、樹木を修景に生かすよう配慮します。難しい場合は、できるかぎり周辺に移植します。